

### 感染症による小中学校への影響は

#### 対策を考慮

**問** 新型コロナウイルス感染症のオミクロン株による感染拡大が進む中、小中学校への影響が出ていると推察します。こうした中、児童生徒をもつ保護者の方は心配だと思えます。学校における学びの保障、併せて学校における感染状況に関する情報提供、児童生徒が安全に学校生活を過ごすための取り組みをお尋ねし

**答** 公表される陽性者数が、糟屋郡全体での表示となつていきますので須恵町単独での陽性者数がいつも気になっていません。公表方法を町単位にできないでしょうか。新型コロナウイルス陽性者数の公表方法について、お尋ねします。

提示を行い、家庭で学習できるようにしています。さらに、教育指導計画を見直し、履修しなければならぬ内容は必ず学習できるように、またそのことが児童生徒に負担にならないよう各校で工夫して取り組んでいます。学校生活においては、朝の検温と丁寧な健康観察、各クラスへの無光触媒の散布やスクリーンサポートスタッフを配置し共有部分の消毒作業を行っています。

ら、あまりにも陽性者数が多いため、粕屋保健福祉事務所からの報告が滞っている状況です。そのため、最新情報や詳細は把握できておらず、お問い合わせを頂いてもリアルタイムな情報はお答えできない状況であり、町のホームページや公式LINEにおいての公表も難しいと考えます。



男澤 一夫 議員

**答** 安河内教育長 文部科学省からの通知を踏まえ、学級閉鎖の基準や期間を定め、新型コロナウイルスを感染拡大させないように努めています。閉鎖を行った学級の学習保障については、オンラインによる課題の

**答** 諸石総務課長 須恵町内の新型コロナウイルス陽性者の人数は、不定期で公表するようにしていますが、オミクロン株の流行か

**答** 平松町長 粕屋保健福祉事務所の業務が逼迫している状況の中で、須恵町の感染者数をリアルタイムにつかむことは不可能です。感染が収束した時点で、どれほどの方々がオミクロン株で感染されたのか議会のほうに報告させていただこうと思えます。

# 町政を問う！

一 / 般 / 質 / 問

## 福祉

### きょうだい児に支援を

#### 可能な限り対応

**問** コロナ禍で人と接する機会が減っている中で、以前一般質問でお伺いした子どもが家族の看病、介護を担うヤングケアラーは認知度が高まりつつあります。その中であつて、重い病気や障がいのある兄弟姉妹がいる子どもは「きょうだい児」と呼ばれています。きょうだい児は親にも甘えられず、親

は病児らのケアに追われることから、家族と一緒の外出や行事参加をあきらめることも珍しくありません。家庭内で見えづらい問題のため、現在、きょうだい児が全国でどれほどいるかは把握されていませんが、一定数いると思われま

**答** 今泉福祉課長 令和4年3月1日現在、18歳未満の障害者手帳所持者は47名、障害福祉サービスを利用している障がい児は139名となっています。障害福祉サービスを受給するに当たり、家族の聞き取りや相談も行っており、きょうだい児についても状況の把握や抱える問題等について、可能な限り対応しています。

**答** 平松町長 小中学校においては、養護教諭の専門的立場から、より一層対象者の実態把握を行い、その上で支援に必要な対応を行っていきたく思っています。



しろうず 春夫 議員

今後の須恵町としての見解をお伺いします。また、医療的ケア児に該当する児童は3名おり、家族および障害福祉サービス計画相談員と連携しながら、家族の問題を含め個別に対応していきます。令和4年4月に県が医療的ケア児支援センターを新宮町に開設しますので、必要に応じて連携できればと考えています。

医療的ケア児者とその家族の生活実態調査報告書

厚生労働省ホームページ